

## 【 緩和ケア 看取りケア勉強会 】を開催しました！

令和5年9月15日（金）18：30～20：15  
京田辺市社会福祉センターにて開催

京都府訪問看護ステーション協議会E地区支部（宇治・城陽・久御山・八幡・京田辺・精華・木津川の各市町）の訪問看護ステーションにご案内し、12カ所のステーションから30名の参加があり共に学ぶ機会となりました。

皆さん、仕事終わりのお疲れがあるにもかかわらず、最後まで熱心に取り組む姿がとても印象的でした。

### 勉強会開催の背景…

2025年以降に高齢者が急増することに伴い多死社会といわれる時代を迎えるにあたり、「自分の望む場所で、望むケアを受けながら最期まで暮らしたい…」という希望を叶えるため、国の施策により在宅医療・ケアの中核となる訪問看護ステーションが急増しました。

しかしながら「緩和ケアや看取りケア」の経験が少なく、不安を感じている訪問看護師が多く、学びの機会を望んでいることや、看取りケアの質の向上が急務であることから「身近な地域の訪問看護ステーションに従事する看護師と共に学ぶ勉強会をしよう」と企画・開催にいたしました。

### 勉強会の様子



## 学びと感想（終了後のアンケートより、一部抜粋させていただきました）

- ・「デスエデュケーション」という言葉を初めて耳にしました。教育とは教える面と教わる面が常に同居しているということ。ご本人だけに限らず、ご家族へのケアがとても大切であることを教えていただき大きな学びを得ました。
- ・知識を得るための勉強と現場での勉強を積み重ねることに加え、相手の事を思いやり感謝の気持ちを持って関わっていきたいと思います。  
とても素晴らしい研修を受けさせて頂き本当にありがとうございました。
- ・参加させていただき、たくさん実りのある収穫ができました。事例の内容は、今後の看取りケアに役立てたいと思いました。
- ・信頼されるプロフェッショナルな訪問看護師に、経験を積み重ねながら一步でも近づきたいと感じました。
- ・これまで自分が行ってきたケアについて不安なこともありましたが、研修を受けたことで再認識できて良かったです。新しい学びもたくさんあり、今後の看護に活かせることができます。  
また、他施設との交流ができいろいろお話もできて良かったです。
- ・配慮にあふれ心に響く言葉かけをしてくれる看護師に、終末期に看護されるとされないのでは患者様にとって満足度が違ってくるはずなので、しっかり学び心を込めて関わり、一つ一つ身に着け経験を積んでいこうと思います。
- ・自分の看護はどうだったかなと振り返る機会になりました。自分とは違う看護ケア、看護観を知ることができ私の看護の中に取り入れたいと思います。
- ・看取りについて知識や技術、コミュニケーション能力など最重要ではありますが、やはり一番の核となるのは「人を大切に思う心」が無ければケアは成り立たないと感じ、改めて看取りケアをさせていただけることへの感謝の心が再燃しました。  
お忙しい中、学びのために時間を設けていただきありがとうございました。

それぞれに心に残ったことが多々あり、学びを得られる機会となりました  
ことを主催者としましても嬉しく、感謝いたします。😊

# 緩和ケア 看取りケア勉強会

## 本日のメニュー

コーディネーター 緩和ケア認定看護師濱戸真都里

### イントロダクション

- 簡単な自己紹介（所属と名前）
- 緩和ケア看取りケアの質向上が必要な理由
- 京都式地域包括ケアの推進 地域における看取り文化の醸成
- 「ACPの手引き」と「自宅で看取りを希望される方へ」のリーフレット紹介

### 家族へのケア

- 「忘れられない家族」の事例について検討
- コミュニケーションの技術、家族の力を高める・引き出す技術
- 参考図書紹介

### 症状緩和

- 呼吸困難感の緩和
- 呼吸筋マッサージの説明
- 在宅医による処方や緩和方法、体制の違い等
- 心に留めておきたい言葉

### 意見交換

- それぞれから「教えてもらいたいこと」「こんな時どうしたらいい？」など

### 最後に…

ターミナルケアを提供するということは感謝の気持ちが生じる…